Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	国語・現代の国語（普・理）	単位数	2	担当者	神田

１、教科書・副教材

高等学校現代の国語（第一学習社）　　新訂国語図説六訂版（啓隆社）
核心漢字 2500＋語彙 1000（尚文出版）　　文学のとびらを開く近現代文学名作選（明治書院）

２、科目の目標

・語彙や知識を身につけ、文章の読解能力を養う。
・社会で起きている問題やさまざまなテーマにかかわるものの見方、考え方を学び、自ら判断したり表現したりする力を養う。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	①「羅生門」	時代背景を意識しながら描かれている状況を理解し、登場人物の行動や心理をもとに場面の展開をつかむ。	35	① ②
	5月	②「水の東西」	二項対立を意識して、両者の特徴をつかみながら文章を読み、筆者の主張を読み取る。		
	6月	③「『本当の自分』幻想」	「自己」という抽象的な概念を理解する。 説得力のある論の展開について考える。		
	7月	④「砂に埋もれたル・コルビュジエ」	重層的に描かれる内容を時系列に沿って整理し、要旨を把握する。		③ ④ ⑤
	8月				
	9月	⑤「ものとことば」	具体と抽象の関係を整理して文章構成を把握し、筆者の主張を理解する。		
後期	10月	⑥「夢十夜」	表現に着目しながら小説を読み、そこに展開される独自の世界を味わう。	35	⑥ ⑦
	11月	⑦「フェアな戦争」	筆者の論の展開の仕方をとらえ、「社会的共通資本」と「フェアな戦争」との関係を理解する。		
	12月	⑧「不均等な時間」	具体的な事例から一般論への展開を把握し、対比の構造を意識しながら近代化と時間の合理性との関係を理解する。		⑧ ⑨ ⑩
	1月	⑨「城の崎にて」	登場人物が経験する事象と関連して語られる心境との構成を読み取るとともに、自身の死生観についても考えを深める。		
	2月	⑩意見文を書く	意見文とはどのようなものかを理解し、自身の経験の中から意見を導き出せるようになる。		
	3月				

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	文章や資料を正しく読み、活用するための必要な知識・技能を身につける。	定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	社会の問題やさまざまなテーマに関するものの見方・考え方を養う。自分の意見を持ち、他者の意見を尊重しながら主張できる。	定期テスト、レポート、提出課題
主体的に学習に取り組む態度	自らの力を伸ばすために、苦手なことに対しても試行錯誤して学ぼうとする態度を養う。	出席、提出物、授業への取り組み

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・授業を大切にし、扱うテーマや事象についてよく考え、積極的に言語化しましょう。
・客観的に本文の趣旨を理解する読み方と、自身の意見を述べる際の論の構成の仕方を身につけましょう。
・授業時の小テストや課題には真剣に取り組み、解答解説を使い、苦手部分の克服に努めましょう。

Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	国語・現代の国語（森・イ）	単位数	2	担当者	原・島川

１、教科書・副教材

新編現代の国語（東京書籍）　新訂国語図説六訂版（啓隆社）　常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）

２、科目の目標

・実社会に必要な国語の知識・技能を身につける。
・論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月 ７月	①山崎正和「水の東西」 ②社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」 「真夏のひしこ漁」	①筆者のものの見方や考え方を読み取るとともに、二項対立など文章の構成について学ぶ。 ②働く人の思いに触れ、社会に生きる自分の将来について考える。	35	① ②
	８月 ９月	★【活動（読・書）】職業調べ ③石田英敬「未来をつくる想像力」	③評論文を読むための基礎を確認する。筆者の主張を、根拠を理解して読み取る。		③
後期	10 月 11 月 12 月	④文章の書き方 （原稿用紙の使い方、文語表現） ⑤小論文（論理的な文章の書き方） ⑥山崎正和「水の東西」	④⑤文章の書き方の基礎を学び、自分の意見を文章で伝える技術を身につける。 ⑥二項対立を意識して、両者の特性をつかみながら読み、筆者の主張を理解する。	35	④ ⑤ ⑥
	１月 ２月 ３月	★【活動（話・聞）】言葉と生活１ 「わかりやすい説明をしよう」 ⑦港千尋「無彩の色」 ★【活動（書）】言葉と生活２ 「新聞記事を読んで意見文を書こう」 ⑧鷲田清一「真の自立とは」	⑦具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張を理解する。 ⑧「自立」について自分の考えを持ち、視野を広げる。		⑦ ⑧

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	実社会で必要となる国語の知識・技能を身につける。	定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	読むこと、書くことを通して論理的な思考・判断をし、適切な表現をする。	定期テスト、レポート、作成物、発表
主体的に学習に取り組む態度	自らの力を伸ばすために、自ら試行錯誤して学ぼうとする態度を養う。	出席、提出物、授業態度

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・漢字、語句、様々な表現を自分自身が使えるように繰り返し学習をしましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	国語・言語文化（普・理）	単位数	3	担当者	島川

１、教科書・副教材

言語文化（第一学習社）、新訂国語図説（啓隆社）
体系古典文法（数研出版）、新明説漢文（尚文出版）
古文単語 315（桐原書店）

２、科目の目標

・古典の世界の豊かさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。
・言葉が持つ価値への認識を深める。
・的確な把握力、豊かな想像力を培い、他者とコミュニケーションを図る態度を養う。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月	古文入門（歴史的仮名遣い） ①「児のそら寝」 ②用言の活用 漢文入門（訓読の基本） ③故事成語	・歴史的仮名遣いに気をつけながら音読をし、古文に親しむ。 ・古文の品詞・活用を学び、古文を読む際の基礎を身につける。 ・訓読になれる。漢文に由来する言葉について知る。	53	① ② ③
	６月 ７月 ８月 ９月	④『伊勢物語』「芥川」 ⑤『徒然草』「丹波に出雲という所あり」 ⑥『十八史略』「完璧」「先従隗始」 《学期を通して》 ▸古文の品詞・活用を学ぶ ▸漢文の訓読を学ぶ。	④文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉える。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ⑤作品に現れているものの見方を捉える。 ⑥時代背景を知り、登場人物の考えや人物像を読み取る。		④ ⑤ ⑥
後期	10 月 11 月 12 月	⑦近現代の詩歌 ⑧漢詩「唐詩の世界」 ⑨『伊勢物語』「筒井筒」	⑦詩のリズム、表現技法について知る。作品を味わう。 ⑧漢詩の歴史・知識を深める。漢詩を味わう。 ⑨作品の歴史的・文化的背景を理解する。 登場人物の心情や人物像を読み取る。	52	⑦ ⑧ ⑨
	１月 ２月 ３月	⑩『論語』 ⑪『土佐日記』「門出」	⑩孔子のものの見方や考え方を知る。 ⑪日記文学や作品の意図について知る。 ユーモアや書き手の思いを読み取る。		⑩ ⑪

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	古典の言葉や使い方、我が国の言語文化に関する事項について理解する。	定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	読むこと、書くことを通して論理的な思考・判断をし、適切な表現をする。	定期テスト、レポート、作成物
主体的に学習に取り組む態度	自らの力を伸ばすために、自ら試行錯誤して学ぼうとする態度を養う。	出席、提出物、授業態度

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・日々の学習（授業）を大事にし、復習をすることで文法・句法の知識を定着させましょう。
・古文単語は学習習慣をつくり、継続して覚えましょう。
・提出物の期限を守りましょう。

Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	国語・言語文化（森・イ）	単位数	1	担当者	原・島川

１、教科書・副教材

新編言語文化（東京書籍）　新訂国語図説（啓隆社）ダブルクリア五訂版（尚文出版）

２、科目の目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言葉がもつ価値への認識を深める。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月	①俵万智「さくらさくらさくら」 ②古文に親しむ （仮名遣い、音読など） ③「児のそら寝」	①３首の歌の内容と読まれた心情をそれぞれ考え、筆者の考える日本人独特の感覚とは何かつかむ。 ②③古文の特色を知り、古文を学ぶ基礎を身につける。	18	① ② ③
	７月 ８月 ９月	④長嶋有「雨漏りの音」 ⑤訓読の基本（訓読）	④時間の経過に注意しながら本文を読み、登場人物の心情について考える。 ⑤訓読の方法を学び、漢文を正しく音読できるようになる。		④ ⑤
後期	10月 11月 12月	⑥訓読の基本（格言） ⑦「五十歩百歩」	⑥訓読の方法を学び、漢文を正しく音読できるようになる。 ⑦昔の事柄と現代使われる語句とのつながりに気づき、言葉に興味を持つ。	17	⑥ ⑦
	１月 ２月 ３月	⑧詩歌 高村光太郎「冬が来た」 佐藤春夫「少年の日」 吉野弘「I was born」 ⑨「絵仏師良秀」	⑧様々な表現の仕方を学ぶ。 ⑨歴史的仮名遣いに慣れ、主人公の独特な考え方を読み取る。		⑧ ⑨

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	古典の言葉や、我が国の言語文化に関する事項について理解する。	定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	読むこと、書くことを通して論理的な思考・判断をし、適切な表現をする。	定期テスト、レポート、作成物
主体的に学習に取り組む態度	自らの力を伸ばすために、自ら試行錯誤して学ぼうとする態度を養う。	出席、提出物、授業態度

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・音読を大切にして、言語文化に親しみましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。